

国鉄改革完遂！

当たり前の労働運動を
前進させよう！

JR 東海労に
結集しよう！

J R
東海労

静岡

J R 東海労働組合静岡地方本部
〒420-0851 静岡市葵区黒金町68 番地

NTT 054-284-3608
発行責任者： 半場弘恭
2024年1月18日 No.16

清水こがねみそ事件再審第6回公判に参加！

証拠は捏造された！ つじつまの合わない証拠が多数！



清水こがねみそ事件再審第
6回公判が1月16日、静岡地
裁202号法廷で開かれました。
地本は、傍聴券獲得、実行委員
会の前段集会、弁護団の激励送

り出し行動にOBと共に参加しました。裁判には半場
委員長が2回目の当選を果たし傍聴をしました。公判
では弁護側から「脛の傷は逮捕後にできたもの。味噌
樽から発見された5点の衣類のズボン、シャツの穴も



傷も袴田さんの『自白』に合わせて作られた。家宅捜査で、警察が発見したズボンの共布は、
警察がズボンと照合することもなく、一目見てズボンの共布だとしたことは捏造したからだ。
5点の衣類の緑色のブリーフは、逮捕後寮から一旦自宅に戻され、お兄さんが差し入れのため
持っていた。袴田さんのパンツではない。同僚が袴田さんの緑のパンツを見たと言っているが、



るが、何処にでも緑のパンツはある。ズボンは股の部分が細くはけなかった。袴田さんの物ではない」と主張し検察側の主張をしっかりと覆してきました。また、「浮かび上がる犯人の動機はえん恨で、犯行は一人ではない。現場の状況から被害者4人全員は起きていた」と主張しました。法定
には、味噌樽から出てきた茶色になったシャツとズボンも提示されました。